

情・報・局

暮らし情報やイベント告知、便利な情報などを掲載します。同好会の紹介など掲載希望は総務課まで。Tel(08514)2・0115

エコポイントカード制度、いよいよ開始！ ぜひ利用を

4月17日から町内の商店に登場したステッカー、ご存じですか？(写真下)

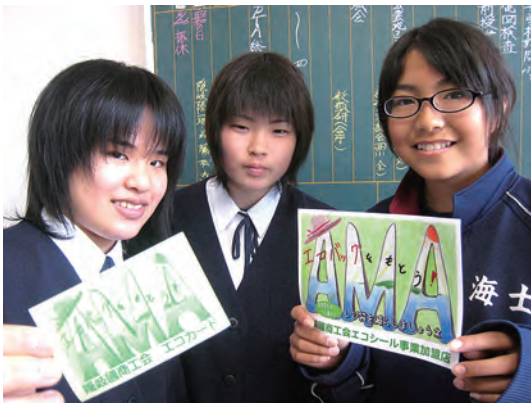
これは「エコポイントカード」協賛店のしるし。このステッカーがある店で買い物をするとき、レジ袋を断ると、エコポイントカードにポイント(シール)を1つもらえます。それが15個たまると、ゴミ処理券1枚と交換してもらおうというお得な仕組みです。

この事業の最初のきっかけは、海士小学校の山下裕次先生が一昨年に6年生のクラスで行った、エネルギー問題についての授業。これを機に環境意識に目覚めた子どもたちが昨年2月に「子ども議会」で提案し、隠岐國商工会の協力を得て、ついに今春実現しました。

中心となって活動したのは、現在は海士中学校2年生になった佐藤真理愛さん、波多綾香さん、倉上朱莉さん。発案し、デザインも手がけた佐藤さんは「環境のため、Iターンの人も地元の人と一緒に取り組みたい」という願いを込めて頑張りました。A・M・Aの文字は、仲良し3人の名前の頭文字と海士(A・M・A)をかいたものだそうです。



入り口やレジ周辺に登場したステッカー(しゃん山)



右から、佐藤さん、倉上さん、波多さん。波多さんが手にしているのがエコポイントカード

この制度が始まってからレジ袋が半分くらいに減った。今後利用が広がってほしい。(菱浦「しゃん山」と、既に効果も始めている様子。海士の未来を担う子どもたちの環境の思いが形になったこの制度、レジ袋の削減でゴミ減量化に貢献しつつよびりお得にもなる、素敵な提案です。ぜひ実践してみましよう！

※協賛店リスト(約30店舗)は別紙回覧をご覧ください

【問い合わせ】隠岐國商工会：Tel(08514)2・0376

今年で5年目！ チャレンジデーに参加しよう

人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツをした住民の「参加率」を競い合います。地区の仲間が一つになり、地域の団結パワーを発揮する好機！今年の対象相手は、北海道礼文町(人口3127人)、宮崎県諸塚村(人口2109人)の三つ巴です。

- ◆日時： 5月27日(水) 午前0時～午後9時
 - ◆対象： 当日、海士町内にいるすべての人
 - ◆内容： 15分間以上継続した運動や作業
 - ◆場所： 海士町内のどこでもOK
- ※詳細は地区回覧等をご覧ください

崎の梅干しを取り上げた本『梅しごと』刊行

5月3日、海士と縁の深い料理研究家である中村成子先生による著書『季節のめぐりの中で 梅しごと』(文化出版局)が出版されました。梅を使ったさまざまなレシピ紹介のほか、崎地区の地元の塩で漬ける“本物の梅干し作り”が取り上げられています。

美しい写真も多く、「梅干し作りを通して日本の伝統的食文化を若い世代に伝えたい」との著者の思いが伝わってきます。ぜひご一読を。



崎の女性たち

海士随一の陶芸家・勇木史記さんの作品が入選

宇受賀に工房「隠岐窯」を構える陶芸家、勇木史記さんの「隠岐灰釉(かいゆう)茶碗」が、中・四国各県と兵庫県の陶芸作家を対象とした権威ある公募展『第26回 田部美術館大賞「茶の湯の造形展」』で入選しました。作品は、海士の材料のみを使った茶碗。「海士の豊かな自然やシンプルな生き方は、そのまま作品作りにつながる。個性が強い海士の土で勝負して認められたということが何より嬉しい」(勇木さん)。

展示は松江市北堀町の田部美術館で6月7日(日)まで。



工房にて、海士の土を大切に使いたい、と勇木さん

第32回 関東海士後鳥羽会総会のご案内

今年は海士町町制40周年。関東海士後鳥羽会は、関東在住の海士出身者が年に一回集まり続け、今年で32回目です。会場は出席者がみな童心に帰って旧交を温めあう懇親の場であり、町長も参加して、海士の現状を知る情報交換の場でもあります。

有志によるカラオケや吹奏楽、盆踊り指導、海士の物産即売等もあります。この機会を、同期会や還暦の会、その他の会合と組み合わせてご活用下さい。

※案内状郵送のため、転居の際は新住所をご連絡下さい

- ◆日時 5月31日(日) 11時半より
- ◆場所 ホテルグランドパレス(東京都千代田区) 3階 白樺 (Tel:03-3264-1111)
- ◆会費 男性1万円、女性8千円、御夫婦1万6千円、学生・80歳以上5千円
- ◆連絡先 古谷(Tel:042-635-6878)